

1月 きゅうしよくだより

砂川市学校給食センター

いよいよ冬休みが始まります。朝・昼・夕の三食をしっかりととり、規則正しい生活で楽しいひとときをお過ごしください。冬休み中には、年末年始の行事があります。家族の健康や幸せを願って食べるさまざまな行事食があるので、ご家庭でも話題にしていただけると幸いです。

～おせち料理に込められた思い～

お正月の行事食の1つにおせち料理があります。おせち料理とは、新年を迎えるお祝い料理で、料理や食材によってさまざまな意味が込められています。おせち料理を味わって元気な一年を過ごしましょう！



えび
こし ま 腰が曲がっている様子から、腰がまがるまで長生きするように

くろまめ 黒豆
まめ (まじめ) に働き、まめ (健康) に暮らせるように

くろい 栗きんとん
おうごん 黄金に見立て、きんうん 金運に恵まれるように

こぶまき
「よろこぶ」の語呂合わせで縁起を担いだもの

こうはく 紅白かまぼこ
「赤」は、ま 魔よけ・めでたさ
「白」は、せいじょう 清浄・神聖な色を表す

れんこん
あな む 穴の向こうが見えることから、しょうらい 将来の見通しがきくように

だてまき 伊達巻
かたち ま 形が巻きもの(書物)に見立てられていることから、がくもん 学問がよくできるように

たたきごぼう
つち なか 根をはるから、かぞく かぎょう とち ね は ゆ 家族・家業が土地に根を張り揺らないように

こうはく 紅白なます
おいわ みずひき あらわ えんぎ かつ お祝いの水引を表し、縁起を担いだもの

たづく 田作り
こさかな た ひりょう 小魚を田んぼの肥料にしたことから豊作を願って

1月7日は七草がゆ

七草がゆとは、1月7日の朝に春の七草を入れたおかゆを食べて一年の無病息災を祈る風習です。

年末年始のごちそうで疲れた胃腸を休めるためでもあるそうです。

お店では、正月三日を過ぎると「七草セット」が売り出されています。



1月11日は鏡開き

鏡開きとは、お供えした鏡もちを下げて食べる年中行事です。

鏡もちの一番上に載っているだいだいは「代々家が繁栄するように」という願いが込められています。お供えしたもちには、神様が宿っているので、小さく割り、おしるこなどにして食べましょう。



1月24日から30日は 全国学校給食週間



学校給食の始まりは、1889（明治22）年、山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）にある大誓寺というお寺に開校された私立忠愛小学校で、貧しくてお弁当を持ってこられない子どもたちのために、食事を提供したのが始まりとされています。

現在の給食は、栄養バランスや地域の食文化、食べ物への感謝の気持ちなど、さまざまなことを学ぶための「生きた教材」として活用するなど、「食育」の役割も担っています。

昔の給食を見てみよう

明治22年



おにぎり 塩鮭 菜の漬物

昭和22年



トマトシチュー ミルク（脱脂粉乳）

アメリカから給食物資の寄贈を受け、脱脂粉乳や缶詰を使って、給食が作られました。ミルクは、牛乳から脂肪分を取り除いて乾燥させた「脱脂粉乳」をお湯で溶いたもので、独特な風味で苦手な子どもが多かったようです。

昭和51年に米飯（ご飯）が正式に導入されました。

昭和27年



コッペパン ミルク（脱脂粉乳）
鯨肉の竜田揚げ せんきゃべつ ジャム

アメリカから寄贈された小麦粉を使い、パン・ミルク・おかずの「完全給食」が始まりました。おかずには、当時は安価だったクジラ肉やちくわがよく使われていました。

昭和51年



カレーライス 牛乳 塩もみ 果物（バナナ） スープ

砂川市立 北光小学校PTA献立実施

26日（木）の献立は、北光小学校の保護者の方が考えてくださいました。テーマは、「全米が泣いた！愛のチキンカツバーガーセット」です。北光小学校6年生からとったアンケートの中からメニューを選びました。献立作成にあたり「6年間お世話になった北光小学校の皆さんへの恩返しになればうれしい」「給食でコーンポタージュが出たら、6年生のことを思い出してほしい」との思いが込められています。

※献立企画をしてくれた北光小学校では、3種類の飲み物から好きな味を選ぶセレクト飲み物を実施します。



1月の献立について

- 「お米」は、砂川産、奈井江産、浦臼産の「ななつぼし」を使用します。
 - 「豚肉スライス」は、砂川産の上原ポークを使用します。
 - 「玉ねぎ」は、砂川産を使用します。
 - 「干しいたけ」は、奈井江産を使用します。
 - 26日は、北光小学校のPTA献立「全米が泣いた！愛のチキンカツバーガーセット」です。
- 砂川産の米粉を使用する予定日… 25日 鮭の南蛮漬

